

(様式第4号)

第6回上田右岸地域協議会 会議概要

|             |  |
|-------------|--|
| 1 審議会名      | 上田右岸地域協議会  |
| 2 日時        | 令和4年9月26日 午後1時30分から  |
| 3 会場        | 西部公民館 大ホール   |
| 4 出席者       | 天田委員、上原委員、小川委員、金井委員、窪田委員、駒崎委員、小林委員、塩入委員、清水悟委員、竹内委員、田中委員、橋詰委員、平澤委員、柳澤委員、渡辺委員  |
| 5 市側出席者     | 【事務局】星野中央地域振興政策幹、小山西部地域振興政策幹、馬場豊殿地域振興政策幹、片山地域内分権推進担当係長、近藤地域内分権推進担当、唐澤地域内分権推進担当主査、腰原地域内分権推進担当主査、芳池地域内分権推進担当主事<br>【財産活用課】木内財産活用課長、永井財産管理担当係長<br>【交通政策課】竹内交通政策課長、市川交通政策担当係長<br>【上下水道局】関上水道課長、緑川経営管理課長、橋詰経営管理課長補佐兼経理担当係長<br>【長野県企業局】上田水道管理事務所 清水企画幹、水道事業課 橋部課長補佐 |
| 6 公開・非公開    | 公開・一部公開・非公開  |
| 7 傍聴者       | 0人 記者 0人   |
| 8 会議概要作成年月日 | 令和4年10月3日  |

協議事項等

次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 協議事項

(1) 市からの報告等

『真田十勇士ガーデンプレイス』の売却について

財産活用課から資料を基に説明

以下、質疑応答

(委員) ルートインジャパン(株)が提案した、中心市街地の活性化をテーマとする地域貢献策の部分で、市でどこまで協議して実行できるのか。たとえば観光案内所の中身など、地域の一員として積極的に協力する、というのはどんなことが想定されているのか。

(財産活用課) 提案については概要計画となっており、これ以上のことは書かれていない。これから地元自治会や行政と協議しながら進めていくことになる。観光案内所については、ルートインジャパン(株)が主体となって建物内に案内所を設けて観光客の誘致に一役買いたいと聞いている。

(委員) 公共的な部分については、ぜひ上田市、地元自治会と協議して進めてほしい。どれだけ観光施設で観光客の増加を図れるかが課題である。

(会長) 重要な公共施設の設置・廃止については地域協議会に意見や諮問をすることとなっている。今後、必要なことについては、地域協議会に中間的な報告や意見を求めてほしい。

(財産活用課) 事後報告となり申し訳なかった。今後、自治会、商店街、商工会議所、商工課などとの話し合

いが進み、ある程度報告すべきタイミングのところで報告させていただく。

『上田市の公共交通の課題と公共交通計画の策定について』

交通政策課から資料を基に説明

以下、質疑応答

(委員) 普段、公共交通をあまり意識せずに生活している中で、どのようなことをアンケートに書けばよいかわからない。上田市公共交通活性化協議会の会議資料に、計画策定についての状況が詳しく書かれている。その資料を事前に提供いただくことはできないか。

(交通政策課) 日頃公共交通を利用されている方は、より利便性を上げるためにはどのような視点で取り組めばよいかや、現状の不便な点についてご回答をお願いしたい。また、普段利用しておらず、接点がない方については、どうすれば公共交通を利用したいと思うか、関心を持って持続可能なものにするためにはどのようなことを取り組んでいけばよいか、という視点でアンケートを書きいただきたい。

活性化協議会の資料については、お配りさせていただく。

(委員) 通勤・通学と免許返納の二種類の利用者が多い。同じ公共交通ではあるが、分けて考えた方がよいのではないか。

(会長) 豊殿地域では1世帯1,000円ずつ負担して菅平観光タクシーに委託し、交通弱者対策に取り組んできた経過がある。それだけでは不足ということで、デマンド交通まで足を踏み出している。交通弱者対策についても、現時点では十分ではないので考えてもらいたい。豊殿、神科、神川の3地区でまちづくり委員会を絡めて今取り組んでいる。市はどのように考えているのか。

(交通政策課) 課題は承知している。移動手段の確保について、市としての方向性をどうしていくか、5年間の計画の中に盛り込んでいくことになる。地域の現状とニーズ等についてアンケートにお書きいただきたい。

(会長) 委員の皆さんにアンケートを提出してもらい、来月意見交換をして、最終的に上田右岸地域協議会の意見書として市へ提出したい。

(委員) 先日、バスを使おうと思いバス会社に問い合わせたところ、土日は運行していなかった。全部のバスが土日祝日運行していないのか。

(交通政策課) すべての路線で土日運休しているわけではなく、路線によって異なる。運転手不足、経営状況の悪化により、利用者が少ない部分の減便、廃止をせざるを得ず、利用したい時に利用できないといった不便が発生している状況であり、それがさらなる利用者の減少につながっている。運転手確保ができて、乗客が居なくても運行を続けられるような経営状況であればよいのだが。

(委員) QRコード決済はすごく便利である。学生でスマホを持っている人が多いが、この決済自体はクレジットカードも使用できるのか。

(交通政策課)クレジットカードと紐付けすれば支払いが可能である。なお、定期券購入の際、クレジットカードやPayPay等が使い、親から定期代をもらって購入する人も多く、お子さんのスマホに送金して購入することも可能になっている。

(委員)地域公共交通計画だが、あくまでも公共交通に限った計画か。それとも豊殿地域で行われているデマンド交通も含まれた内容での計画になるのか。

(交通政策課)公共交通だけでは地域の人々の移動手段を賄うことが難しい状況にある。国の方針では、スクールバスや福祉タクシー、お買い物バス等を含めた輸送手段の総動員を言われている。豊殿地域のデマンド交通も今回の計画には含まれる。

#### 『上田・長野間における水道事業広域化の検討について』

上水道課から資料を基に説明

以下、質疑応答

(委員)広域になった場合は集金業務や検針業務も一緒になるのか。

(上水道課)まだ全体的な財政シミュレーションの段階で、個別の検針の方法などについては決まっていない。現状と変わらない検針員が伺うようにはなるかと思うが、具体的な方法はこれから決めることになる。

(委員)検針事業は広域になった時に、もっと大きな規模で民間に委託することもあり得るとのことか。

(上水道課)現在、上田市では民間業者に委託している。他の事業体も同様で、流れとしては同様に委託になると考えられる。

(委員)委託業者に関しても、一つ前の委託業者は外資系の会社だった。広域になった時に外資系の水道業者になる可能性があるが、それについての対応はあるのか。

(上水道課)業者については入札で決めている。検針業務や委託業務について、外資系業者の参入も可能性としては考えられる。

(委員)水道事業の委託先が大手企業になったことにより、水道料金が上がったという話も聞くので注意してほしい。

(会長)水源の確保を含めて上田市は非常に苦勞してきた。水はとても大切で、水の権利は500年・1,000年前からあるような権利であるため、単に広域化すればよいという簡単な話ではない。

塩田、川西地域の一部は染屋浄水場から水を送ればよいので、あえて上田市が広域化に加わる必要はないのではないか。県営住宅もそうだが、県所有のものを市町村に移管すればよい、というように受け取れる面もある。十分に協議をしてほしい。

(2) 視察アンケートを踏まえて

11 月追加視察先を選定

視察候補地

中央地域：笠原工業、西部地域：小岩井紬工房、神科・豊殿地域：染屋浄水場

(3) 次回以降の第9期の活動について

(会長)提言については、これから1年半程かけて調査研究を行い、方向性を出していければよいと考えている。

(4) その他

4 その他

次回の開催予定

日時 10月24日(月)13時30分から

会場 豊殿地域自治センター

5 閉会